

グラウンドワークとは・・・・・・・・

市民・企業・行政がパートナーシップをとりながら、地域の環境改善などを行う活動です。あなたもぜひ活動にご参加ください。
(文中グラウンドワークをGWと表記することがあります。)



06.12.4 東京で開かれた「あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム」の中で、受賞団体の活動紹介や表彰式が行われ、GW三島の渡辺豊博事務局長が代表で受賞。



日英シンポジウムのために来日した、英国グラウンドワーク協会のステファン・サイクスさんとベキール・アンドリュースさんを実践地へ案内し中郷温水池を訪れたとき、水面に映る逆さ富士を見ることができた。

～ GW三島に内閣総理大臣賞～

GW三島は、平成18年(2006)11月9日「あしたのまち・くらしづくり活動賞」(財団法人あしたの日本を創る協会主催)の、まちづくり・くらしづくり活動部門で最高賞の内閣総理大臣賞を受賞した。幅広いネットワークを作った「水の都・三島」の再生への取り組みなどが評価された。

緒明實理事長は「さまざまな関係者の地道な支援に支えられて受賞できた。今後とも『地域力、市民力』を最大限に発揮して、発展的で挑戦的な市民活動を続けたい」と喜びを語った。

～ 日英GWシンポジウム&ワークショップ2006～

GW三島では、平成18年(2006)10月9、10日に環境を生かしたまちづくりに取り組む市民、行政、企業の連携による地域再生や地域の課題をビジネス化して解消を図る環境コミュニティビジネスについて考える「日英GWシンポジウム&ワークショップ」を開催した。*関連記事P2参照

写真(左) 英国のゲストと交流するグローバル文化交流協会のメンバーとGW三島のスタッフとで「お好み焼き」ディナー。
写真(右) せせらぎシニア元気工房を見学。



10.15 五合目水ヶ塚公園から宝永山を望む、富士山湧水インストラクターたち。

GW三島が初めて実施した「富士山湧水インストラクター養成講座」が修了し53人(受講生は115人)のインストラクターが誕生。講座は富士山麓の湧水の仕組みや生態系の専門家などが講師を務め、9月中旬から5回の実地研修を含む全16回。今後は富士山周辺湧水マップの作成や、静岡・山梨の小学生による「ぐるっと湧水探検隊」のガイドを務めることなどが検討され、学校の総合的な学習の講師も想定している。

平成18(2006)年10月2日～5日まで、GW三島が国土交通省の支援を受けて実施した社会実験「安全・環境配慮型交通手段」として「エコ周遊カー」の効果を検証するために、三島市中心街での運行をした。屋根つきの三輪車は道行く人の視線を集め4台の周遊カーに乗った人々は三島の魅力を再発見する“小さな旅”を楽しんだ。

車体のバックに源兵衛川やカワセミの写真がデザインされたエコ周遊カーは大人気。



NPOの自立に向けた取り組みを目指す「せせらぎシニア元気工房」の作業場で。

GW三島ではNPOに共通する課題、安定的な活動資金の確保を得るために、3年前から加茂川町の「せせらぎシニア元気工房」を活動拠点にリタイア組を中心にした中高年グループ約30人が、間伐材や放置竹林を活用した木工品を製作・販売。また箱根西麓の休耕地を借りてソバを作り、「三島そば」の商品化を目指している。

日英GWシンポジウム&ワークショップ 2006

さる、10月9、10日、GW発祥の地英国から専門家を招いて「日英GWシンポジウム&ワークショップ」(GW三島主催、(財)日本GW協会共催)が三島市で開催され、2日間で約100人が参加した。

9日のシンポジウムでは、渡辺豊博GW三島事務局長が「地域再生を目指した新たな挑戦」と題し、休耕地でのそばづくりで荒廃を防ぐといった環境コミュニティビジネスの実践例を説明した。続いて、英国GW協会ステファン・サイクスさんとベキール・アンドリュースさんが、1980年代地域資源を最大限に生かそうと、行政や民間企業、市民ボランティアが連携を取りGWを誕生させてから現在に至るまでの活動を紹介した。

10日のワークショップでは、渡辺事務局長が、市民、企業、行政、NPOなどが協力して源兵衛川の清流を復活させた活動を紹介し、英国GWの環境ビジネスの手法について講演した。



竹あかりと屋台

GW三島は12月23日午後5時から8時まで、赤橋付近の御殿川と搦屋の道で市内の放置竹林で伐採した竹を有効活用した灯籠にさまざまな灯りをともし、和風イルミネーションで人々を楽しませた。また、間伐材や廃リヤカーで作った屋台を繰り出し、GW三島せせらぎシニア元気工房で収穫したての「三島そば」や豚汁などを販売し、三島の路地裏文化の再生による街のにぎわい復活を試みた。(この事業は三島市造園建設業主催の「三島・竹あかり」のイベントに合わせて開催された)



三島南高ビオトープ移設・再整備決定

2003年秋に生徒とGW三島によって作られたビオトープが、グラウンドの拡張工事のため埋め立てられることになった。高校では校内の委員会などで検討の末、ビオトープをグラウンド西側のテニスコートのそばに移して再整備することを決定した。

グラウンド東側の約400㎡のビオトープには、放流されていた絶滅危惧種のメダカが2年余りの間に数千匹に増え、昨年4月に保護され、現在は地域の人、市内の長伏小学校などで飼育されている。

移設・再整備については、昨年8月にPTAや同窓会、地元町内会、GW三島も加わり「創ろう会」を作り、10月に地域ぐるみで「南校にビオトープを創ろう会」を発足させた。

一方、学校では学年ごとの勉強会が始まり9月21日にGW三島の専門家集団の1人、加須屋真さんが1年生を対象に講演で

「絶滅の危機にある地域の種を保存する方法として、ビオトープは必要」と訴えた。講演を聞いた生徒は「絶滅危惧種を守る役割に興味を持ちました」と話した。鈴木利貞校長は「ビオトープの再整備を通し、生徒たちの人間形成の場につなげたい」と期待している。



アンコールワットにバイオトイレ設置

「バイオトイレ」は富士山の山岳トイレとして利用され、その後「三島梅花藻の里」で実証データを集め、昨年9月に環境省の委託を受け、白糸の滝(富士宮市)に設置された。

上下水道や電気などが不十分な地域で使え、汚水を出さない「バイオトイレ」をカンボジアの世界遺産・アンコールワットに設置することが決定した。

アンコールワットは観光客の急増に伴う排泄処理や地下水汚染に悩んでいる。そのカンボジアで遺跡の保護機構理事を務めるクオン・クンネアイさんと世界遺産の棚田のあるフィリピン・イフガオ州の前知事テオドール・バギラットさんが白糸の滝を訪れ「バイオトイレ」を視察した。「有効な方法と分かった。ぜひ設置を実現させてほしい」と期待感を表明。1月にGW三島のメンバーがアンコールワットを訪れ、現地状況を確認。年内の設置を目指している。



若者が提案！水都・三島の魅力大発見・発表会

GW三島は、クラブツーリズム(株)が大学生のインターンシップを公募し行う「日本の元気を創ってくシゴト体感インターンシップ2006」の共催団体となり、10月~11月にかけて「水の都・三島市街地の誘客」をテーマとして行われた事業に全面協力した。GW三島では、現地三島での視察研修の成果となる「提案企画商品」の審査(H18.11.19 東京新宿)の結果を受けて、上位3チームを招いて、「発表会」(H18.12.10 三島グランドホテル)を開催し、多くの三島市民が参加した。

- 1位:「感動!!“ちゃんかけ”~世界の三島・ちゃんかけウォーク~」(テーマ:自然生態・環境再生学習ウォーク)
- 2位:「都会のオアシス~三島 しょくしょく祭り~」(テーマ:食文化探訪まちなかウォーク)
- 3位:「いきいきエコマーケット~リサイクリング都市・三島~」(テーマ:産業観光・エコビジネス視察・学習ツアー)

発表では、若者の感性で三島の良さを引き出し、具体的で実行可能な企画提案に、感動・感謝の拍手が送られた。

ちゃんかけ:昔、川に捨てられたちゃんわんのかげらのことをいう



昔の技、伝統の味 復活

せせらぎシニア元気工房 そばづくり隊 -

かつて箱根路を往来する人々に親しまれていたという「三島そば」の復活を目指し、ソバ栽培に取り組んで3年目。10月には2000㎡の畑一面ソバの花が満開となり、11月半ばに収穫、脱穀、分別作業が行われた。古い農機具(足踏み式脱穀機・とうみ)を使った作業は珍しく、昔ながらの製法で伝統の味を継承しようという意気込みが感じられた。

約150kgの収穫があり、大晦日には年越しそばとして市販され、手打ち体験も行われた。





中川 和朗さん
GW三島 顧問

師走の声を聞くと、私はいつも今は亡き、一人の友人のことを、嫌でも思い出す。

彼の名前は村上信吾。五十五歳を一期に、卒然として彼岸へと飛び立ってしまった男だ。

三島きつての老舗の御曹子で、私と同年。昭和十八年（一九四三）四月、一緒に沼津中学の門をくぐった仲だ。慶心に進み、その後自社、伊伝（株）に身を置いた。

昭和三十七・八年頃（一九六二・三）、取引先の日本石油と掛け合せて、伊伝の宣伝用パンフレット「イデン・スタンド」（季刊）の発刊を企画。私たちに話があった。

そこで、すでに三島で有名だった「浪漫亭」のマスター、山田信春を編集責任者に、フリーのシナリオライターで、沼津・三島でタウン誌「狩野川」の発行者、間藤守之。沼中時代から大岡信の親友で、鬼の詞「同人」の頃、印刷会社にいた太田裕雄。後年島田市長を勤めた俳人・詩人の加藤太郎。私の兄中川力。そして私などがメンバー

で発足した。

三年ほどの間に、十二号まで発行し、三島、沼津、伊豆一帯の伊伝のスタンドで配布した。歌人の大岡博・詩人信父子。映画監督・五所平之助。猪村を建ち上げた湯ヶ島の白壁荘の宇田博司。「伊豆のこぼれ咄」

古老に聴く「の題字を書いていただいた龍澤寺の中川宗測老師。随筆や詩。下田、熱海、修善寺、箱根その他、お年寄りから昔咄を聞き書きし紙面を飾った。

そしてメモバーが拾い集めた巷のニュース、エッセーなどが、「週刊朝日」に転載され、村上はその面目を施したものだ。

昭和三十九年（一九六四）一月、「三島ニュース」は、その二面全てを「石油工場の誘致に反対する」と題する論文で埋められた。

市内の少壮実業家とだけ記されたその筆者は、まぎれもなく村上信吾。同級の川村博一は、当時自民党県連職員。二人はあるベテラン政治家を訪問、コンピュータ誘致反対を激しく迫っている。思えば私たちはかけがえのない男をひとり失ってしまったのだ。

（敬称略）

窪の湧水

「いきもの観察ボード」設置！

特種製紙株式会社の創立 80 周年を記念して、「窪の湧水」（長泉町竹原区と清水町伏見区）に「いきもの観察ボード」が 11 月 21 日に設置された。ここでは、2005 年からワークショップや水辺のいきもの観察会を開いてきた。長泉町竹原区と清水町伏見区の自治会や地域の人たちと GW 三島が協働して 2006 年 2 月に整備工事が始まった。子供たちや地域の人たちに知ってもらえるよう、今年度中に、自然観察会やワンデイチャレンジ等を行い、いきもの観察ガイドのパンフレットを作成する予定である。



Smile スマイル

「生涯現役マナビスト」

佐伯 忠夫さん



昭和 5(1930)年生まれの 76 歳。現在、所属する諸団体は 21 を数える。また、日本大学国際関係学部で伊豆学を学ぶ大学生であり、三島市周辺で行われる各種のイベントや講演会等に、カメラ片手に参加している姿が良く見受けられる。その上に、週 3 回テニス(硬式・軟式)と卓球で汗を流す佐伯さん。本当に、よく学び、身体を動かすことが好きなようだ。

佐伯さんの生まれは清水町新宿で、そこから静岡県立沼津中等学校に通い、昭和 20(1945)年 7 月 17 日の沼津大空襲を体験。旧制の中学最後の卒業生であり、新制高校(現・沼津東高)最初の入学生でもある。静岡大学を経て、祖父の佐伯勝太郎氏が創立した(株)特種製紙に入社。主として技術畑を歩き、三島・岐阜工場の工場長も歴任している。

佐伯さんの「まず、汚れてどぶ川化した源兵衛川のゴミ拾いから始めた」というボランティア活動の歩みは、真に GW 三島の活動史と重なり合う。苦労もあったが、環境教育の講師も引き受け、子供らと一緒に川に入り、遊び、語り合ったことが、何よりも替え難い喜びになっているようだ。

「好きなお酒を飲んで長生きして、健康である限りどれも続けたい」と語る佐伯さんは、「生涯現役マナビスト」と呼べそうだ。

鎮守の森探検隊

「冬の里山を観察しよう」に出発！

12 月 17 日、曇り空のもと、三島市内の親子で観察会をスタートした。菅原久夫先生の植生植物説明を聞きながら松毛川とその周辺の田畑やあぜ道を観察した。ホトケノザ、ナズナなど、春の七草で知られる植物を見ることができ、オオバコ遊びも楽しんだ。

また、鳥類を望遠鏡や双眼鏡で観察した。滝道雄先生の鳥類説明を聞きながら、カワラヒワ

の群れが、猛禽類のハヤブサを取り囲んで追いつ

出す「擬攻撃」の珍しい光景を見た。狩野川では、額の白いオオバンがエサをとる姿も見ることができ、楽しい観察会となった。



*擬攻撃 = モビング：小鳥が群れをなし、猛禽類を威嚇して追いつくこと

事務局新スタッフ自己紹介

海野 博(うんの ひろし)さん



10 月から GW 三島のスタッフとして、皆さまのお手伝いをさせていただいています。グラウンドワークという言葉は 7 年前から聞いたことはありましたが、当

時はまだよく分かりませんでした。静岡市出身の自分には三島市は遠い所と感じていたのですが、GW 三島についてぜひ学んでみたいと思って来ました。

実際に、多くの人々との活動を通じて三島市民の意識の高さを実感しました。静岡市をはじめ、日本全国にこのような郷土を大切に思う心が広がることを願って、頑張っていきたいと思ひます。

小野 明子(おの あきこ)さん



長泉で生まれ育ちましたが、昨年 4 月に三島に引っ越してまいりました。

一昨年のリバーインストラクター養成講座を受講し、GW 三島

を知りました。

昨年 9 月より清水純子さんの後任として経理を担当しています。会社の経理とは違い戸惑うことも多々ありますが、多くの方々との出会いや仲間とのふれあいに充実した毎日を送っています。これからも向上を目指して頑張りたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

GW三島活動記録 2006年9月29日-2007年1月31日

月	日	曜日	事業名	内 容	場 所	人数
10	1	日	鎮守の森探検隊	山中城址の歴史と昆虫を観察しよう	山中城址	34
10	2	月	富士山湧水インストラクター	【座学4】火山としての富士山を学ぶ	Via701	77
10	7	土	鏡池作業	定例作業		5
10	8	日	三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	6
			源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	7
10	9	月	日英GWシンポジウム&ワークショップ	現場視察・シンポジウム	みしまプラザホテル	100
10	10	火	日英GWシンポジウム&ワークショップ	ワークショップ	Via701	60
10	11	水	日英GWシンポジウム&ワークショップ	反省会	Via701	10
10	12	木	窪の湧水池	打合せ	特種製紙 t プラザ	15
10	15	日	富士山湧水インストラクター	【実学1】富士山五合目と宝永火口を体験する	静岡県内	55
10	16	月	富士山湧水インストラクター	【座学5】富士山の降雨と地下水との相関を学ぶ	Via701	70
10	19	木	三島南高校ピオトーブ	第1回南高にピオトーブを創ろう会	三島南高校	15
10	20	金	スタッフ会議		Via701	11
10	22	日	富士山湧水インストラクター	【実学2】富士山の湧水池を訪ねる	静岡県内	58
10	23	月	富士山湧水インストラクター	【座学6】富士山の自然の魅力と不思議を学ぶ	Via701	73
10	26	木	電通富士山セミナー対応	富士山現地視察	白糸の滝・西湖など	2
			山岳トイレ実証試験	第2回ワーキンググループ会合対応	白糸の滝・田貫湖	3
10	27	金	電通富士山セミナー	補助	電通ホール	1
10	29	日	境川・清住緑地	定例整備作業・稲刈り稲架掛け	三島梅花藻の里	80
			富士山湧水インストラクター	【実学3】富士山の生活歴史文化を	富士浅間大社等	40
10	30	月	富士山湧水インストラクター	【座学7】富士山の動物を学ぶ	Via701	71
11	2	木	国土交通省社会実験	エコ周遊カーの運行とアンケート調査	三島市内	40
11	3	金	国土交通省社会実験	トランジットモール体験、屋台村、緑陰空間	三島市大通り商店街	150
11	4	土	鏡池作業	定例作業		8
			国土交通省社会実験	エコ周遊カーの運行とアンケート調査	三島市内	多数
11	5	日	富士山湧水インストラクター	【実学4】富士山の魅力を体験する	青木ヶ原樹海・西白塚等	51
			国土交通省社会実験	エコ周遊カーの運行とアンケート調査	三島市内	多数
11	6	月	富士山湧水インストラクター	【座学8】富士山の植生を学ぶ	Via701	67
			三島梅花藻の里	定例整備作業・稲刈り	三島梅花藻の里	15
11	11	土	境川・清住緑地	定例整備作業	境川・清住緑地	6
			鎮守の森探検隊	秋の自然観察とネイチャーゲーム	三島市内	6
			源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	8
11	12	日	富士山湧水インストラクター	【実学5】富士山の湧水池を訪ねる	静岡県内	56
			そばつくり隊	そばの収穫・脱穀・分別作業	三ツ谷そば畑、悠遊工房ひろかわ	20
11	13	月	富士山湧水インストラクター	【座学9】富士山の地下水を学ぶ	Via701	69
11	14	火	そばつくり隊	そばの収穫・脱穀・分別作業	三ツ谷そば畑、悠遊工房ひろかわ	16
11	18	土	そばつくり隊	そばの分別作業	三ツ谷地区そば畑	16
11	20	月	富士山湧水インストラクター	【座学10】富士山の文化・文学を学ぶ	Via701	63
11	21	火	スタッフ会議		Via701	11
11	23	木	境川・清住緑地愛護会	ピオトーブツアー	カッパビル焼津工場ほか	36
11	26	日	富士山湧水インストラクター	【座学11】ワークショップ・修了式	Via701	60
12	3	日	鏡池作業	定例作業		7
12	4	月	英国GW研修	報告会	WAVOC	2
12	4	月	あしたのまち・くらしづくり活動賞	表彰式	東京都内	4
12	5	火	あしたのまち・くらしづくり活動賞	全国フォーラム	東京都内	4
12	7	木	山岳トイレ実証試験	第2回技術実証委員会	白糸の滝、ゆうゆうホール	15
12	8	金	そばつくり隊	「三島そば」試食会	悠遊工房ひろかわ(加茂川町)	25
12	9	土	桜川を愛する会	定例作業		8
			三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	6
12	10	日	源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	7
			クラブツーリズム(株)共催事業	若者が提案!「水都・三島」の魅力大発見・発表会	三島グランドホテル2階 廊の間	50
12	13	水	スタッフ会議		Via701バックヤード	12
12	15	金	国際交流基金	韓国ナショナルトラストと打合せ・現地視察	韓国・ソウル	3
12	16	土	境川・清住緑地	収穫祭(餅つき)	境川・清住緑地	80
12	17	日	松毛川子ども環境探検隊	水質検査と川を調べる	松毛川	14
12	17	日	鎮守の森探検隊	松毛川の冬の生き物の観察	松毛川	14
12	19	火	市長面談	受賞報告ほか	三島市役所	6
			ESD	第1回ESD推進協議会	NPO・ボランティア情報センター	17
12	21	木	忘年会		丸平商店・蔵	25
12	23	土	社会実験	御殿川ライトアップ・門前屋台村	御殿川・搦屋のみち	多数
12	29	金	事務局会議		Via701	6
12	31	日	年越し「三島そば」	そば打ち教室とそばの注文販売	Via701	25
1	6	土	鏡池作業	定例作業		6
1	13	土	桜川を愛する会	定例作業	桜川	7
1	14	日	三島梅花藻の里	定例作業	三島梅花藻の里	6
			源兵衛川を愛する会	定例作業	源兵衛川	8
1	17	水	スタッフ会議		Via701	12
1	19	金	窪の湧水池	ワークショップ		15
1	21	日	境川・清住緑地	収穫祭(餅つき) 野鳥観察会	境川・清住緑地	80
			鎮守の森探検隊	最終回: 成果発表会	Via701	8
1	24	水	ESD	第2回ESD推進協議会	Via701	13
1	28	日	腰切不動尊	1月例祭	腰切不動尊	9

バイリンガル環境かるた

第3改訂版好評発売中

GW三島参加団体グローバル文化交流協会発行のバイリンガル環境かるた第3改訂版が好評発売中である。かるた遊びをしながら環境問題を考えたり英語を学んだりすることができ、さまざまな国の人の参加で国際交流も広がる。

お問合せ先:

055-986-1524 (TEL・FAX 共通)

055-988-1633 (TEL・FAX 共通)

販売価格1セット1,800円(送料別)



「松毛川子ども環境探検隊」開催中

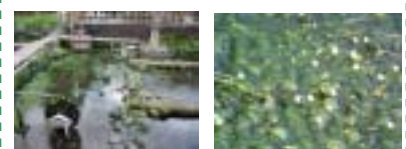
「松毛川子ども環境探検隊」が昨年12月16日から開催されている。松毛川は狩野川流域に残された旧河川敷の半月型の止水域であり、全国的に貴重な水辺自然環境。この再発見と具体的な環境改善活動に向けて、子どもたちに松毛川の貴重性を理解してもらうために子ども環境探検隊を結成している。来年7月まで計9回計画している。参加無料。申込はGW三島事務局まで。



三島梅花藻の里

ボランティアの力で維持管理

三島梅花藻の里は現在、ボランティアの人たちが毎朝、清流に入り、清掃やミシマバイカモの世話をしています。「最近では、せっかく植えた花を持ち帰る人もいて、困っています」と、ボランティアの1人が嘆いていました。見えないところで活動を続けてくれている人たちがいることを忘れずに、ミシマバイカモを大切にしていきたいですね。



視察に訪れたみなさん H18.10-H19.1

月	日	団体名	人数	住所
10	15	静岡大学農学部	30	静岡県
10	25	島田市自治会長連合会	52	静岡県
10	27	やまとの環境をよくする会	20	神奈川県
10	31	(財)広域関東圏産業活性化センター	18	東京都
11	2	(財)くれ産業振興センター	6	広島県
11	3	国土交通省	5	愛知県
11	9	伊船工業団地環境推進委員会	14	三重県
11	12	美野原土地改良区	18	群馬県
11	14	富士宮商工会議所	12	静岡県
11	20	株式会社プレックス研究所	3	東京都
11	23	東京農工大学	35	東京都
11	26	三重大学建築学科	1	三重県
12	11	みんなで作る農業・農村の会	10	北海道
12	13	河川環境管理財団	2	東京都
1	22	騎西町区長会	40	埼玉県
1	25	ふるさと水と土基金 全国研修会	40	全国
1	31	六会地区くらしまちづくり会議	15	神奈川県

GW三島15周年事業開催のお知らせ

2007年2月10日(土)~11日(日)

*2月10日: みしまプラザホテル

10:00~12:00: 現場視察

13:00~17:00: 記念講演、大討論会

18:00~20:00: 情報交換会

*2月11日: 日本大学国際関係学部

10:00~12:30:

分科会1「人間力・地域力を取り戻すためのNPOの役割」

分科会2「バイカモ国際サミット」

13:30~15:00: 各分科会からの報告と総括

グラウンドワーク三島 ボランティアニュース32号編集室 (GW三島事務局)

大畠公好子 川崎徳子 岸野和子 城所但帝 小松幸子 斎藤彩子 坂井良重 山崎多紀子(50音順)